



# R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2010～2011 年度 高山中央 RC 会長テーマ  
「心をつくし、力を合わせて」

地域を育み、大陸をつなぐ

◆会長 清水 幸平 ◆幹事 大保木 正博 ◆会報委員長 今井 俊治 ◆会報担当 久々野 国良

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市花岡町 1-15 丸越商事 4F

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

## <出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 863 回	48 名	47 名	40 名	—	85.11%
前々回 861 回	48 名	47 名	46 名	0 名	97.87%

<点 鐘> 会長 清水 幸平  
<ソング> それでこそロータリー

## <本日のビジター>

高山西 RC 寺田 昌平 様

## <会長の時間> 会長 清水

朝晩がとても暗い季節になっていますが、冬至 10 日前ということを行います。冬至の日は、昼間の時間が 1 年でいちばん短い日です。しかし、日の出、日の入の時刻を調べてみると微妙に違っているようです。今日あたりから 1 分ずつ日没が遅くなり冬至の頃には 4 分も日が伸びている事になるようです。しかしその分日の出の時刻が遅くなっているため実際には昼間の時刻は短くなっているようです。冬至を過ぎても日の出時刻は遅くなり続け、元旦頃が最も朝が明けるのが遅いようです。

朝が暗いと目を覚ますのも遅れがちです。しかし自然の動きに合わせた生活をしていくのが健康のためと思えば、まあ朝の目覚めが遅れるのも仕方ないことでしょうか。現代の社会は正確な時間で管理されています。1 時間の長さも一定です。しかしながら、夜明けから日没までを一日として時間を割り振り、スケジュールを組めたらいいのになあと思いませんか。

本日は会長経験者の卓話です。前座はここまでとさせていただきます。ありがとうございました。

## <幹事報告> 幹事 大保木 正博

◎R I 本部より

・ロータリーアン誌

○高山ロータリークラブより

・例会変更のお知らせ

1 月 6 日 (木) → 9 日 (日)

17:30～ 洲さき 新年例会の為

## <叙勲褒章受賞祝賀会事務局より>

・叙勲褒章受賞祝賀会開催について

日時：2 月 2 日 (水) 16:00～

会場：高山グリーンホテル 天山の間

会費：10,000 円

## <本日のプログラム>

20 周年実行委員会

島 委員長



## <卓 話>

「20 年を振り返って」

松之木 映一 会員

皆さま こんにちは

10 年前はひと昔と言っていましたが、20 年前はふた昔と言うことですが、月日が経つのは本当に早く感じている今日今頃です。

20 年前、劔田さん、故溝際さんにさそわれて入会させて頂いたわけですが、初代 三輪義平会長さん、初代 溝際清嗣さんが親クラブである高山西 RC の指導を受けながら一生懸命例会づくりに取り組まれた姿が思い出されます。今は高山 RC、高山西 RC を追い越すような中央 RC であると思いますので、このクラブに入会させていただいて本当によかったと思っています。

印象に残っている事を少し話をさせていただきます。4 代目会長 前川さんの時、白川自動車の白川隆さんが親睦委員長でした。新年家族例会の時に、何か出し物をやってほしいとの要望がありました。

当時会員であった花岡旅館で親睦委員が集まり、出し物は白鳥の湖に決まりました。ビデオテープを見ながらでしたが、本番ではたいへんうけました。そのせいか次の年には会員を 3 つのグループにわけ新年演劇例会になってしまいました。それぞれのグループが一生懸命やりすぎて食事や酒を飲む時間がなくなってしまったので、次の年には中止になりました。

5 代目会長 飯山真弓さんの時、第 2630 地区第 5 分区代理を三輪義平さんがやられ、当クラブで IM を開催しました。

13 代目会長 永井信次さんの時、私が幹事をさせていただきました。その時、大阪で国際大会が大阪ドームで開催されました。この時は、移動例会だったのですが、大会後に I・T・H・F のメンバーが 40 名ほど当クラブの例会に出席したいと言う事でしたので、永井会長と私とで別会場のリーガロイヤルホテルまであいさつに行ってきました。当クラブで高山 RC、高山西 RC の会長さんを交えての I・T・H・F のメンバーとの例会が無事修了する事ができました。大阪国際大会では、一部を除いて段取りの良い島さんのおかげで楽しい例会になりました。



## <卓 話> 「20 年を振り返って」

三枝 祥一 会員



### 高山中央ロータリークラブの歴史

創立 平成 3 年 5 月 20 日 (1991 年)  
R I 認証 平成 3 年 6 月 6 日 (日本で 1960 番目)

ガバナー 中川 和行 様  
スポンサークラブ 高山西 RC  
コ・スポンサークラブ 高山 RC・下呂 RC  
特別代表 劔田 豊市 様  
認証状伝達式会場 伝達式 (高山短大講堂)  
祝賀会 (高山短大体育館)

高山祭をイメージして

実行委員長 田口 隆平

初代会員数 43 名  
初代会長 三輪 義平 (2 年)  
初代幹事 溝際 清嗣 (2 年)

現在の平均年齢は、55.58 歳

創立当時は、約 45~6 歳

所属地区 第 2630 地区濃飛分区

地域 高山市、飛騨市、下呂市、大野郡白川村

### 名前の由来

高山 RC は、宮川より東 高山西 RC は、宮川より西という暗黙の了解がありましたが、どの地域からでも OK ということで、高山中央 RC になりました。

友好クラブ 平塚湘南 RC

(平成 18 年「2006 年」2 月 10 日締結)

### 歴代ガバナー補佐

三輪 義平 (1995~1996) 名称 第 5 分区代理  
田口 隆平 (2003~2004) 濃飛分区ガバナー補佐

## &lt;卓 話&gt;

## 「20 年を振り返って」

橋本 修 会員

20 年というこの長い長い日数をロータリーと共に歩んでこれた事は想像以上、正直言って無欠席は想定外でした。家族を始めメンバーの方々、多くの仲間達に感謝しなければと素直に思いました。

振り返ってみますと、ロータリー活動を軸に総てを組み立ててきた感じがしますが、結果的に間違っていなかったと実感しています。

当初はバッチの重みさえ理解できず、先輩方よりご指導いただきましたが、未だにバッチが似合うロータリアンとはほど遠い会員のままでいます。

明日のわからない混沌としたこの世の中で、続けられるかどうかわかりませんが、後悔している事とやりたい事が一つずつあります。

後悔していることは、R 財団委員長（1997 年）の時に中央 RC より国際親善奨学生として希望されている K さんの要望に答える事が出来ず、大きなチャンスをのがした事です。今後の人生を左右する様な重要な事に真剣に取り組んでやれたかと言うと反省させられます。

又、今後の望みとして中央ロータリーのテーマソングを作

るという事です。提案はさせていただきましたが、まだ具体化までいたっていません。R バンドを結成しまして、4 年目に入るとは思ってもみませんでした。さらなる夢は、自分たちのクラブ歌を演奏したいという大きな夢です。是非共、ご協力の程をお願い致します。



## &lt;ニコニコBOX&gt;

高山西 RC 寺田昌平様のご来訪を心から歓迎申し上げます。  
役員・理事 一同

寺田さんようこそ高山中央ロータリークラブへ。来年も「あゆみ会」よろしく申し上げます。  
田中 雅昭

高山西 RC 寺田昌平様のご来訪を心より歓迎致します。  
高原 武夫

新井さんにはお世話になりました。お陰様で本日出席する事が出来ました。  
久々野 国良

12月2日の結婚記念日お菓子、12月10日の妻の誕生日お花をそれぞれ頂きありがとうございます。  
水川 巧

セブンスターの皆様ご苦労様でした。素晴らしい音楽だった様な気がします。橋本さん、写真ありがとうございます。高木さん、迎えに来て頂きありがとうございます。来年も皆様の素晴らしい音楽を楽しみにしたいと思います。  
周 信夫